

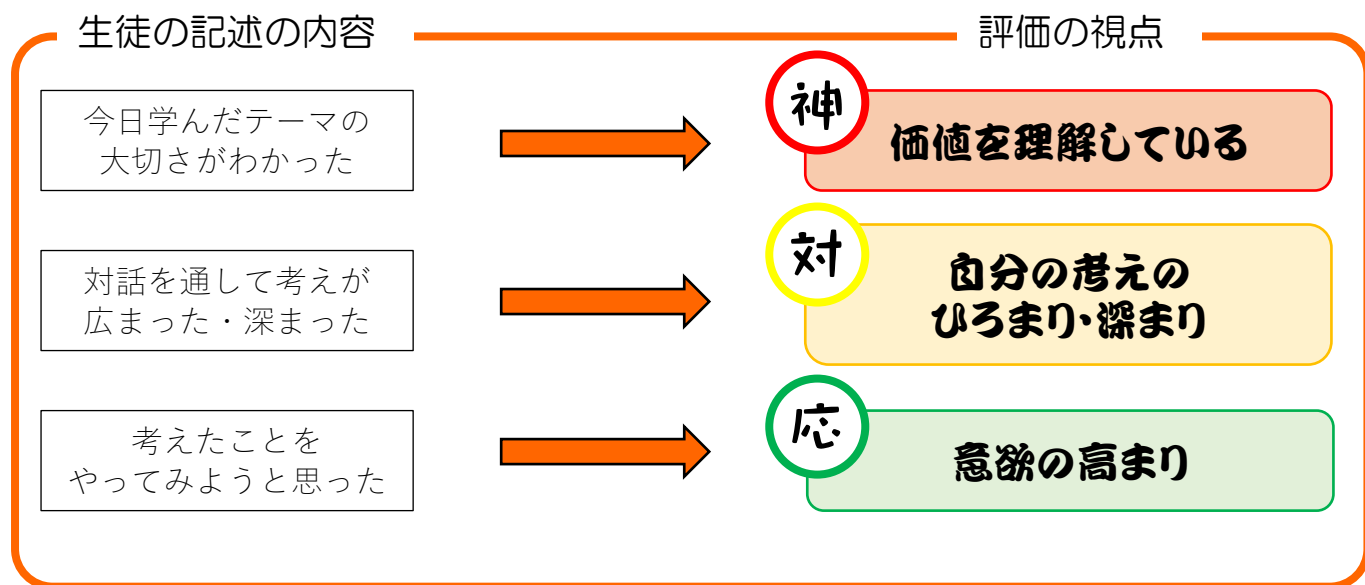
前回の道徳通信はいかがだったでしょうか？4月から各学年とも道徳の授業を通して、前回取り上げた項目について毎時間友だちと話し合いを重ねながら取り組んで、自身の心の成長につなげているところです。さて、今回の道徳通信は、「道徳科の評価」について取り上げていきたいと思います。道徳科の授業も他の教科と同様に毎時間の取り組みについて評価を行っています。どのような視点なのか？また、神埼中独自の取り組みを交えながらお伝えできればと思います。

○道徳科の評価について

皆様もご存じの通り、道徳科以外の教科では、通知表に表されているように「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の3観点で評価を実施しています。一方で道徳科の評価は、まったく異なります。道徳は「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める。」という目標が掲げられています。つまり、授業を通しての「心の成長」を評価するということです。そのために、先ほどの目標に倣い、各学校で独自の視点を用いて評価につなげていきます。

○神埼中学校の道徳科の評価の視点について

神埼中学校では、道徳科の掲げている目標から、次のような3つの評価の視点を作りました。



これら3つの視点に優劣はなく、どれができたからいい、よくないは存在しません。生徒の授業の振り返りの中から、1時間の授業での心の成長を読み取り、評価につなげています。ちなみに、それぞれの視点が生徒にもわかりやすいように、「価値の理解 → 神」、「考えの広まり・深まり → 対」、「意欲の高まり → 応」の神埼中学校伝統の神対応を記しています。毎時間のワークシートを評価につなげ、年度末の通知表に記載しています。裏面に実際の生徒の振り返りを載せているので、確認されてみてください。

裏面に、生徒のワークシートも載せています！ぜひご確認ください！

○道徳科の評価のようす（生徒のワークシートより）

今日の授業で思ったことを書いてみよう。

見たりをまもっているわけじゃないのに「てあげたのに」となりきれとこの
語をいって見返りであるにふつてもらうたのときのうれしさのうれ
何倍もうれしいと返えることをしめた



教材や授業のテーマについて、生徒が本音で考え、その思いや気づきを交えて書いてくれることが多いです！

今日の授業で思ったことを書いてみよう。

私はまだ生活の中で、その語のように、なにをなく、サッとしたところと何かある人ではないと思う。でも、それは私のために、いかにしても、毎日何回ももらって、~~それによって~~ためになる。そして、重宝として大切にしたいなと思う。 (神)



今日の授業で思ったことを書いてみよう。

今日の授業で、真の思いやりは、みかえりをもと
めないので。それは、みかえりのためにみかえりをする
ことではないと考えた。みかえりとは、みかえり
の手紙をもって、思いやりのある行動をしたことだ。



今日の授業で思ったことを書いてみよう。

真の思いやりを考えてみて、自分が考えたこと、他の人の考えがちがって、
他の人の意見と聞いてなるほどと思うことがたくさんあったので
これより強くなりました。(姓) 藤



対話で気づいた
ことも書かれて
います。
これから増えて欲
しい視点です！

今日の授業で思ったことを書いてみよう。

おは"あまの優しさに 本当にこんな人と 112dかな?" と思っ7=0

和も、何処に親切にできるとは言えない。

2017.10.0



一番多く書かれているのが意欲面！
たくさんの生徒が「やってみよう」
という気持ちをもってくれるのは
とても嬉しいことです！

今日の授業で思ったことを書いてみよう。

真の思いやりは、見返りを求めないで、だれにも気づかれなくても、自分が
気づいたら、すぐに動かしてあげた。これからの学校生活、日常生活でも、
いかしていきたいです。



○編集後記

いかがだったでしょうか？次回は神崎中学校が取り組んで入る研究の様子を、子どもたちの授業の様子とともにお伝えできればと思います。次回発行は12月下旬予定です。また、道徳通信の感想等も募集します。右のQRコードから回答をよろしくお願い致します。

